

松野カラ松の 不在



及び
神様の行方

Mr.osomatsu fanfiction
osomatsu × karamatsu

カラ松が
失踪した

何を言っても
なく、
全てのものを
残したまま

まるで最初から
存在しなかつた
かのようにな

あの馬鹿は
あつさりと姿を
消してみせた

今日も俺たちは
この小さな家で
うごめいている



…へえ
そうなんだ



母さん、
搜索届だしたって



まあ成人が自分でした
失踪なんてろくに
探しちゃあくんない
らしーけどなあ



ちよつと前に
あいつを見かけたって
言うから

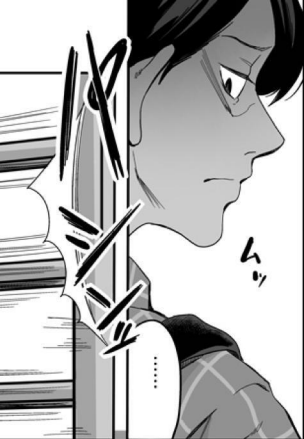
話を聞いてくる



なに、
出かけるの？

うん、

知り合いの友達で
高校んときのあいつの
クラスメイトがいてさ、





何もかも
置いてって

生きてるか死んでるか
わからないのに
なんでそんな

生きてるよ



クンま……
カラ松

1/11く



なにがああ？



あいつに死ぬ勇気なんて
無いって、
生きてるよ

あつたりまえじゃん、
生きてる生きてる
大丈夫



……最後にね、

ハッ

……





お前までふらっと
居なくなるなよお

お兄ちゃんそれが
こわーい

居なく
なるわけない

俺はここ以外で
生きれないんだから

…あいつが一番、
ここ以外で生きられない
と思ってた

ギッ
ギッ
ギッ

クラッ

そんなの俺だって
思ってたよ

これは多分、
あいつがかけた
呪いなんだろう





みんな毎日
お前の事はっか
考えてるよ



そうしたかったん
だろ?
カラ松



お前馬鹿なんだから
1人で考えさせると
ろくなことにならないんだ

だから俺が
決めてやるって
言ったのに

あー

カララ

あいつ一人
居なくなつた
俺の生活は
変わらない

遅い朝を起きて
ぶらぶら出かけて

キッ
キッ

帰ってきたら、

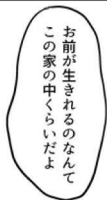
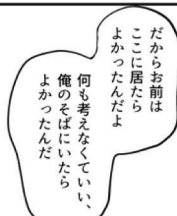
おかえり
おそ松

…あーあ

タ
タ
タ



今更気付くなんて
チープなメロドラマも
いいとこだ

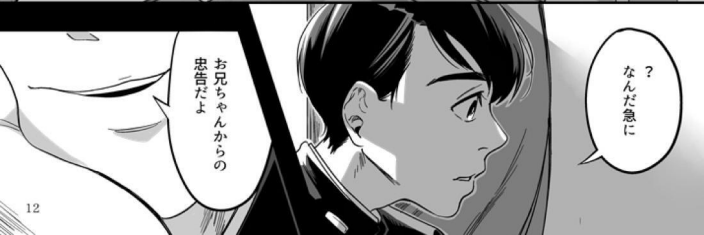
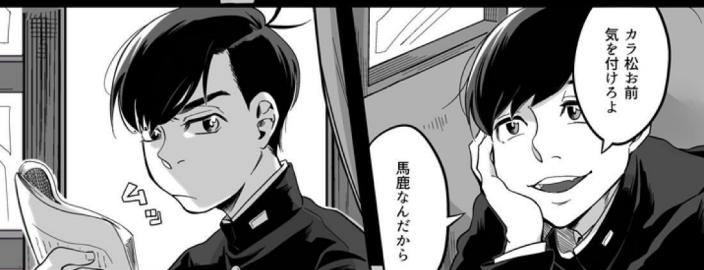


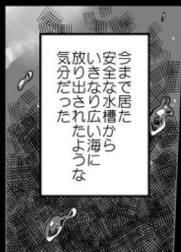


彼は恐るべき才能の
主ですよ。」

神様は
いると思う

「誰もかれもがですな、
彼の意のままに動くんですね」







松野って
ずれてるよな



え



上手くいがない
からこそ
面白い



人生は上手く
いかない

普通にしたら
いいのに、
なんでできないの？







上手く
いかない





神様、



神様、





神様。

世界はお前みたいな
馬鹿に
優しくないんだよ

気づいて
なかっただろ？



……
に
い
さ
ん



おれ、
どうしたら
いいんだろ？

ギョ
ギョ
ギョ



なあに？
カラ松



全部俺が
決めてやるよ

だからお前は
なあんも
考えなくていいの



全部全部
決めてやる

お前はそれに
乗っかってたら
いい

その方が
楽ちんだろ？



あー、そっかあ

それなら
安心だな

俺の神様

それから
ずっと

おそ松が
俺の神様だった

神様に守られた
生活は
なかなか快適で

あまりに
快適だったから

俺が
いないと

さびしがりや
なんだ



つい
守られていたことを
忘れてしまったんだ

カ
あら松う

どーゆー
つもり？



勝手に家
出てつてさあ



ただここに
居たらいんだよお？

お前はなあんも
決めなくていい

誰も
選ばなくていい

しかもあんな
ドブスと結婚とか

おそ松
神様を
怒らせてしまった





そうか！
自分で考えたら
いいのか！

なるほどそれは
思いつかなかった

兄弟というのは
素晴らしい、
俺に無い視点を
与えてくれる

そうだ思い出した
俺、別に考えるの
嫌いなわけでは
なかったんだ

何で
忘れてたんだろう

じゃあまずはお
おそ松が怒った
理由だな

Why

おそ松
おそ

ふむ

俺が勝手に
出ていったことか？

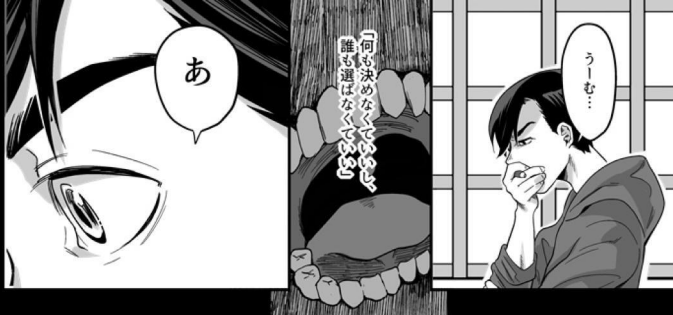
家を出
ッ
ッ！

いや、これは違うな
いつも外出するのに
言付けないでしなくても
怒らないし

じゃあ結婚したこと？
いや、めでたいことだ
怒ることでもないだろ

これも違うな

家を出
ッ
ッ！



もしかして
おそ松は
俺の結婚の事も
全部ちゃんと
決めてくれるつもり
だったんじゃない？



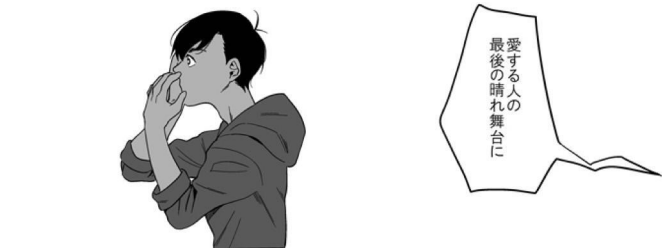
なるほど、
なのに俺が勝手に
全部決めて式も
済ましてしまったから
怒ってるんだ

なるほど！

きつとおそ松には
完璧なプランニングが
あったんだ、
なのに俺が勝手に…

ああ、これは
すまないことを
してしまいました







10 アアア



そうか

何も式は結婚式だけじゃないか

あるじゃないかの最高の締め括りの舞台が!





おそ松に
俺の葬式をあげて
貰おう！



あ



しまった死んだら
せつかくのおそ松の
完璧な式を見られない
じゃないか



困ったぞ、おそ松に
俺の葬式あげてもらうには
死ななきゃいけないのに

うーん…





節目の年だし
もう死亡っていうことに
してみたね



見つからないまま
まあ、ご両親も
お年だからね



…見つからないのに
死んだことにできるのか？



たしか、
そう…



一定の期間
生死不明だったら
そういう手続きが
できるみたいよ

トン
トン

7年
だったかしら



あー
こんにちは

すみません
こっちで時間指定
させてもらったのに
遅れちゃって



うん、覚えてるよ
松野の六つ子

小さい頃TVで
特集されてるの
見たことあるし、
割と近いとこに住んでる
ってのも知ってたけどさ

高校で初めて
同じ学校になって
実物を見たときはビビったね
「わあ本当にいたんだ」って

あ、ごめんね
本人を前に

まあ六人もいるから
三年間で必ずどれかとは
同じクラスになったんだけど、

その…

ああ、
あいつ次男なんだ

そう、カラ松とは
2年のときに
同じクラスだった

話したことが無いわけ
じゃないけど
友達って言うほどでもない

普通のクラスメイトって
感じだった

六つ子ってことを
差し引いたらあいつも
目立つ方じゃなかったしね



あ、

でもあいつのことで
ちよつと印象に
残ってることがあるんだ

放課後の教室で
何人かで
話してたときにさ

それまで皆笑って
あいつも笑ってて
それなりに盛り上がり
たのに

どれだか知らないけど
あいつの兄弟が
迎えに来て一言言っただ



「カラ松、
帰ろう」

って



そしたら
あいつ、

ほんとそれまでは
普通に笑ってたのに、
びたつと止まって

それから



ぞっとしたのを
覚えてる

なんて例えたら
いいかわからないけど、
そうだな

まるで全てを
諦めた老人みたいな
笑顔だった

ああごめん、
聞きたいのは
ここじゃないんだよな

うん、あいつを見たんだ
多分2カ月くらい前

服装？

うーん……
あんまり覚えて
ないなあ

革ジャン？
いや、そんなのじゃ
なかったよ

特に記憶に
残らないような
普通の格好だったん
だと思う

あまりに学生のときの
あの諦めたような顔が
印象に残ってたから

「ああ、やっと何か
やりたい事が
見つかったのかな」って

「よかったな」って
思ったんだ

声は
かけなかった

やけにすっきりした
顔して
機嫌良さそうに
歩いてたからさ



きっとこの世界には
途方もない力をもった
主役がいて

きっと全ては
そいつの手のひらの上さ

ああ、いいんだ
俺は別に
主役じゃないことに
絶望なんざ
しちやいない

端役は
端役としての
生き方がある
ものだ

出番は限られても
印象的に登場し
ミステリアスな謎を
残して去っていく…

そんな役もなかなか
クールで
いいだろう？

ねえ、
カラ松兄さん
それならさ

うん？

兄さんが
居なくなった後
その舞台は
どうなるの？

決まってる
だろう？

完全無欠の
ハッピーエンドだ

あつは

人生は
上手く
いかないねえ！

互いの心をちつとも理解できてなんかいなかったのに、
分かり合えてるつもりでいたおそ松とカラ松の話でした。

「松野カラ松の不在 及び神様の行方」

発行日:2016/08/21

発行者:痔レンマ(でんかく)/でこっぱち

連絡先:dekoppachi.zirenma@gmail.com

pixiv : ID=1412347

Twitter : @denkaku

印刷所:(有)金沢印刷

※原作・アニメ・その他関係者様とは一切
関係ありません。
オークションへの出品、複製、無断転載は
ご遠慮ください。